

2023年（令和5年）12月25日（月曜日）

## 低炭素型コンクリート材料を研究

安部日鋼工業 藤本氏がPCシンポで優秀講演賞

安部日鋼工業の藤本眞世氏が、このほど郡山市で開催された「第32回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」において、環境に配慮した低炭素型コンクリート材料の研究である「太陽光パネル由来のガラス微粉末および細骨材がモルタル物性に与える影響」の論文を発表し、優秀講演賞を受賞した。

将来大量に廃棄が予想

会の実現にも寄与する。



論文の著者である（左から）宮島朗氏（安部日鋼工業）、藤本氏、朴氏、辛軍青氏（安部日鋼工業）

近年、急速に広がる太陽光発電設備の中で、問題となるのが廃棄物処理であり、2030年代には大量の太陽光パネルが廃棄される見込みで、そのな

かでも重量の7割近くを占める廃ガラスの適切な利用方法が課題となっている。こうした課題に対応するため、水道・下水道を含むコンクリート材料・製品全体への適用を視野に入れ、今回の共同研究を推進している。

共同開発の両者は、今後本技術の実用化を目指して、学術の知識と産業界の技術を融合させ、研究開発をさらに推進していくこととしている。

藤本氏は「私は就職後、この開発テーマに出会い、研究に携わってきた。これまで進めてきた研究が高く評価されたことを、とてもうれしく思います。今後も、このSDGsに資する研究成果をもって、社会に貢献できるように努めてまいります」とコメントしている。